

## 平成 27 年度「ひょうご地域安全まちづくり活動賞」受賞者一覧

【個人の部：3件】

(50音順)

氏 名 (年齢)	住所地	所属団体	活動分野	主な功績の概要
可藤 猛夫 (64歳)	姫路市	網干防犯協会 余部支部	防犯	<p>網干防犯協会余部支部副支部長を務めており、地域の安心安全のために長年貢献してきた。</p> <p>具体的には、毎日の児童登下校の見守り、定期的な青パトによる防犯パトロールを行っている。その他、防犯キャンペーンの企画・実施や広報誌の作成、小学生への防犯ブザーの配布など幅広い活動をしている。また、メンバーの固定化を防ぐために各種会合で防犯活動への参加を呼びかけるなど、個人の功績が顕著である。</p>
藤原 史生 (81歳)	神戸市 垂水区	垂水防犯協会 上高丸支部	防犯	<p>垂水防犯協会上高丸支部の顧問のほか、各団体の役員を務めており、地域の安心安全のために長年貢献してきた。</p> <p>具体的には、毎日の児童登下校の見守り、防犯パトロールは欠かさず行っている。警察と連携した防犯キャンペーンへの参加や市民対象の防犯講話などに加え、地元防犯ボランティアの後継者育成にも尽力し、住民からの人望も厚く、取組・人柄ともに表彰に値する人物である。</p>
山川 雅義 (79歳)	神戸市 北 区	神戸北防犯協会	防犯 警察協力	<p>神戸市北区において開業医院を営んでおり、地元医療の発展に取り組む傍ら、25年間にわたり警察の嘱託医として、検視業務に取り組んできた。</p> <p>また、地元小学校等の嘱託医も務め、青少年に対する薬物乱用防止教室を開催したり、毎朝の登下校の見守りも欠かさず、医師として安全安心なまちづくりに大きく貢献している。</p>

## 【団体の部：17件】

(市区町建制順)

団体名	所在地	代表者名	活動分野	主な功績の概要
東灘防犯協会 本山支部	神戸市 東灘区	志井 一雄	防犯	東灘防犯協会でもっとも活動員数の約60名で活動しており、安全安心な明るい社会づくりを目標に東灘警察署と連携し、地道な地区防犯活動に取り組んでいる。 特に日々の地元小学校の登下校時の見守り、若手防犯ボランティアの育成、通学路の防犯カメラ設置(過年度実績15台)、青パトの増車に力を入れており、その他少年補導、高齢者に対する振り込め詐欺被害防止対策、高齢者宅への戸別訪問にも取り組んでおり、地元防犯団体に範を示す活動を展開。
灘防犯協会 琵琶支部	神戸市 灘区	大杉 英雄	防犯	灘防犯協会の支部として21名の会員で地元小学校区での防犯活動に取り組んでいる。特に2班編制の防犯パトロール、夜間の門灯点灯の呼びかけ、街灯の管理補助、地元小学校の登下校の見守りに力を入れており、ひょうご防犯ネットワークを活用し、犯罪発生状況の情報発信も行っている。 その他、警察と連携した年末特別警戒時の夜回り、各キャンペーンへの参加、行政と連携したクリーン活動、少年補導、高齢者防犯対策など幅広く活動し、地道な地域密着の防犯活動を長年行っている。
脇浜ふれあい まちづくり協議会 (見守り隊)	神戸市 中央区	塩月 時佳	防犯	平成7年阪神・淡路大震災後、神戸製鋼所跡地に建設されたHAT神戸地区の住民が中心となって、平成13年ころから地元小学校の登下校の見守り活動を続けている。2名1組の交代制で見守りを行うなど、活動を継続させるため工夫も行っている。 その他、一人暮らし高齢者を対象としたふれあい給食会の実施、振り込め詐欺防止運動を行うなど、地域の実態に即した活動を展開している。
生田防犯協会 三宮東支部	神戸市 中央区	池田 正彦	防犯	三宮センター街周辺を活動範囲としており、三宮地域では、万引きや置き引き、悪質なキャッチセールスといった犯罪が多発しているため、地域の状況を踏まえ、地元警察と連携して「三宮地区安全・安心パトロール」「振り込め詐欺防止キャンペーン」など積極的に推進している。また、毎月第2火曜日を「パトロールの日」と設定し、防犯パトロールや少年補導を実施するなど、兵庫県一の繁華街三宮の実態に即した活動を展開している。
神戸市兵庫地区 青少年育成協議会 会下山支部	神戸市 兵庫区	木下 文夫	防犯	青少年育成に積極的に取り組んでいる兵庫地区青少年育成協議会12支部を代表する団体である。活動の三本柱として「居場所づくり」「子どもの見守り」「地域の連携」を掲げ、家庭や学校で孤立した子どもに手を差し伸べるための、夏祭り、野菜作り、朝のラジオ体操など様々な活動を展開している。 また、地元の会下山小学校、神港高等学校の生徒、兵庫警察署等と連携し、クイズ形式で子どもと110番の家を探させ、防犯マップを作成するなど、「子どもを守り・育成する活動」を徹底して実践し、取組内容を地域安全まちづくり協議会総会で発表することにより、他の防犯団体に対し大きな影響を与えている。
兵庫防犯協会 和田岬支部	神戸市 兵庫区	坂口 英二	防犯	昭和31年に結成以来、子どもの見守り活動を中心とした地元密着の地道な活動を長年続ける団体である。平日は欠かさず子どもの見守りを行い、地元小学校から全校集会に呼ばれ謝辞を受けるなど信頼も厚い。近隣の防犯協会支部との連携も強く、合同で青パトを運用している。 日々の地道な活動に加え、警察と連携した振り込め詐欺防止キャンペーンに積極的に参加、民生委員と合同で高齢者宅の訪問活動を行う等、地元防犯に多大な功績がある。

団体名	所在地	代表者名	活動分野	主な功績の概要
竹の台地域 まちづくり 防犯グループ	神戸市 西区	山崎 安之	防犯	地域住民により組織された防犯ボランティアで、平成 17 年 12 月の活動開始から 1 日も休むことなく見守り活動을 続け、2000 日を超えており、決して派手ではないが、地元で根ざした粘り強い活動을 続けている。その他、広報誌の作成による注意啓発、小学校と連携した「子供安全会議」の開催など関係機関との連携にも力を入れているものである。
けやき坂自治会	川西市	野田 繁二	防犯	平成元年 12 月から地域の安全安心まちづくり活動に取組んでいる自治会であり、子どもの登下校の見守り、青パトの運用によるパトロールを中心に活動しており、子どもの見守りと青パトによるパトロールは毎日欠かさず実施している。 また、防犯カメラの設置推進、安全マップの作成、カーブミラーや街灯の設置要求など、ハード面の充実にも力を入れている。さらに、警察と連携した児童対象の防犯・交通安全教室の実施、街の美化のために自作のダストボックスを設置するなど、地域の安全安心のために、多大な貢献をした。
川西防犯協会 日の出支部	川西市	岩佐 義信	防犯	30 名の会員を有する防犯協会の支部であり、毎日の子どもの見守り、毎月 6 回の青パト運用によるパトロールに力を入れている団体である。警察との情報交換会議、通学路の危険箇所の点検、各種防犯キャンペーンへの積極的な参加等、見守り以外の活動にも力を入れている。 また、防犯チラシの作成、防犯うちわ 500 枚を夏祭りで配布、「子どもの安全安心確保モデル事業」の活用により子ども 110 番の家ステッカーを防犯委員宅に掲示するなど、地域の安全安心の向上には努力を惜しまず活動している団体。
SWING-BY 実行委員会	猪名川町	広瀬 真椰	インターネット 安全利用 促進	高校生約 50 名によるボランティア団体で、猪名川町において青少年のインターネット安全利用啓発、地域清掃活動、少年の健全育成キャンペーンへの参加等を行っている。平成 26 年から県警察が猪名川町を青少年インターネット安全利用促進モデル地区に指定、先進的な取組が各地域に知られることになり、県下に影響を及ぼしている。 具体的には、「INAGAWA スマホサミット」を開催し、児童・保護者への注意啓発、手作りの教材によるスマートフォン授業を阪神地域の小中学校で行うなど、近年問題化する青少年のインターネット安全利用の促進に大きく貢献。
別府町地域安全 推進協議会	加古川市	松本 嘉治	防犯	安全安心まちづくりのために地元自治会、防犯協会、補導委員会、消防団、学校等で構成されたボランティア組織であり、平成 17 年から警察庁の「地域安全安心ステーション」モデル地区に県下で最初に指定され活動している。 主な活動は、毎日の子どもの見守りと月 2 回の合同防犯パトロールで、PTA と連携して 800 名参加のウォークラリーを実施し子どもの防犯マップを作成している。他に防犯キャンペーンへ積極的な参加、街灯・防犯カメラの設置促進などハード面の強化にも尽力している。 平成 19 年 10 月に発生した女兒刺殺事件を重く受け止め、「事件を忘れない」との決意で、更に活動を活発化させ、見守り活動の強化はもちろん「防犯のつどい」を開催し、防犯意識の向上に努めている。

団体名	所在地	代表者名	活動分野	主な功績の概要
交番花くらぶ	加古川市	武内 香	防犯	<p>東播磨地域の住民 38 名で構成される団体で、加古川警察署管内の交番・駐在所前にプランターを設置し、植栽活動・花の管理の行き帰りに防犯パトロールを実施、危険箇所に関する交番勤務員との情報交換を行い、市民と交流を深めている。</p> <p>加えて花の管理の際、いわゆるワンワンパトロールを実施、加古川市内の JR 駅前 2 カ所にシンボルキャラクター「まもる君」のモニュメントを設置、地元食品メーカーと協力して防犯キャラクターのお菓子を制作するなど、様々な角度から市民の防犯意識啓発に寄与しており、新しい切り口の安全安心まちづくり活動を展開している。</p>
三木防犯協会 末広支部	三木市	石崎 幹夫	防犯	<p>59 名の会員を有する防犯協会の支部であり、毎日朝夕の子どもの見守り、定期的な夜間パトロールに力を入れている団体である。防犯講習会の開催、各種防犯キャンペーンへの積極的な参加、防犯チラシによる啓発等、見守り以外の活動にも力を入れている。</p> <p>また、夏祭りなどの地元行事での少年補導、街灯・防犯カメラの設置促進など地元のニーズに応じた的確な活動を地道に続けている。</p>
中町北小学校 子どもを見守る会	多可町	藤原 義昭	防犯	<p>地元有志 11 人により構成された防犯ボランティア団体で、「将来にわたって安心・安全な地域社会を築いていくこと」を目的に活動開始以来、雨の日も風の日も、毎日朝夕の児童見守り活動を欠かさず続けている。学校での防犯教室への参加や情報交換会議の開催、毎日の見守り活動により、保護者からの信頼も厚く、全校集会で感謝状の贈呈も行われ、慕われている。</p> <p>他に、小学校と協力して通学路に注意啓発の看板を設置するなどハード面の整備にも尽力しており、地域に根ざした地道な活動を続けている団体である。</p>
兵庫県立大学 ソーシャル メディア研究会	姫路市	月岡 暉史	インターネット 安全利用 促進	<p>青少年のインターネット問題研究の第一人者である兵庫県立大学竹内准教授研究室の大学生約 40 名により活動している団体で、青少年のインターネット安全利用に関する取組を行っている。</p> <p>具体的には、県下広域における小中学生への情報モラル教室、企業とタイアップした「疑似体験アプリ」の作成、猪名川町で活動する SW I N G - B Y 実行委員会の高校生への指導など、青少年に対するインターネット安全利用に関する多種多様な取組を行っており、他へ及ぼす影響は多大なものがある。取組は、国関係機関、他府県からも注目を集めており、社会問題の解決に先進的に取り組む団体である。</p>
暴力団と関係を 断つ会	赤穂市	藤野 高之	暴力団 追放	<p>赤穂市内における暴力団排除活動を行う団体で、会長を務める藤野氏が働きかけ、市内の 314 事業所がまとめ、暴力団排除活動を推進したものである。</p> <p>平成 20 年～23 年に頼母子講対策により暴力団の資金を根絶、官民一体となった取組により 3 カ所の暴力団事務所を閉鎖に追い込んだ。現在は、合同パトロールや暴力団排除キャンペーンを展開し、暴力団空白地区を維持するための取組を続けている。</p>
さよう地域 ふれあいの会	佐用町	横山 弘介	防犯	<p>地域住民と交番・駐在所の橋渡しをする役割を担い活動する団体であるが、団体に所属する地域住民 41 名が自主的に活動を発展させ、毎週の登下校の見守り、定期的な防犯パトロールを行っている。</p> <p>他に自治体・警察と協働で町内 39 箇所に啓発看板を設置、防犯・交通安全教室への参加、地元のイベント警戒、啓発チラシの配布など活動は多岐に渡っている。また、設置した啓発看板も定期的に清掃メンテナンスを行い、きめ細やかな対応をしている。</p>